３Ｒ瓦版（１月号） 2020 年

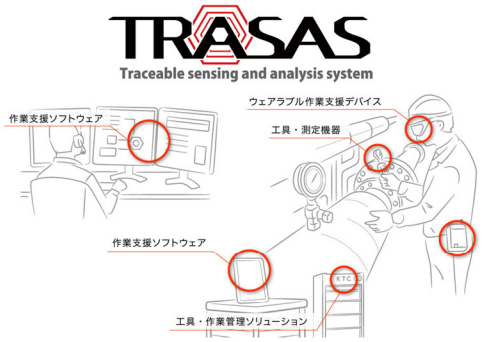
© 2020 フジコ イトウ All Rights Reserved.

『工具メーカーが考える人作業の IoT 化！』

○ものづくりの現場のトレーサビリティを実現する

多様な業界で、最近よく耳にする「IoT（Internet of Things）」という言葉があります。ものづくりの現場や工場のインフラ整備なども例外ではありません。加工設備に取り付けられた様々なセンサから得られる情報を活用し、加工の自働化や故障の事前予知、エネルギー管理などに活用されています。

工具メーカーである KTC も IoT に着目し、私たちの使命である「安全な社会の実現」に向けた活動に取り組んでいます。その具体例の一つが 2018 年 10 月にリリースした「TRASAS（トレサス）」です。



「TRASAS」は工具や測定具にセンシングの要素を組み込み、その測定データを上位コンピュータに送信できるシステムで、作業の履歴を自動的に記録・管理・分析し、人作業の IoT 化に貢献します。これにより勘やコツに頼った作業を脱却でき、全ての人に「安全」「快適」「能率・効率」を提供します。

○TRASAS できる現場作業の課題解決

現場作業の安全を確保するには、作業の点検が欠かせません。点検と言えば、点検表やチェックシートを思い浮かべる方が多いのではないでしょうか？その点検結果や作業記録を自動で記録できるのが TRASAS なのです。例えば、自動車整備における導入事例をご紹介しましょう。

タイヤ溝測定を自動で点検記録簿に！

TRASAS で実現できる課題解決

①ペーパーレス化
②転記時間や記入間違いの削減
③作業の標準化
④作業記録を活用した不具合発生時の原因究明

○わたしたちの仕事

KTC は作業用工具を製造販売する企業ですが、それだけではありません。工具に秘められた無限の可能性を通じて、社会に安全を提供する企業なのです。私たちが製造する工具は多種多様な現場で利用されています。その無限の可能性を通じた社会貢献を目指しています。

京都機械工具株式会社　総務部　　堀川　智樹

RepairFactory　㈲本杉工機
京都府久世郡久御山町田井新荒見 220 番地
tel：0774-66-6254